



前への回復にとどまらない新しい観光が創造されることの期待もある。

渡邊 福島県のインバウンドについては、2017年1～11月の外国人延べ宿泊者数が、震災前の水準を上回るこのままだ。震災前は福島～ソウル便があったこともあったが、韓国からの旅行者が多かったが、放射能への風評が払拭できず、路線も、集客も減っている。その一方で台

についてすなわちに語り継いでいくことが大切だ。震災から7年が経ちつつしているが、地域を挙げて風化しないように伝えていく義務がある。福島、東北の取り組みを国内外に発信し、その上で観光にも訪れもらい、地域への振興につながるようにしたい。それが、私たちが福島、東北に生まれて、今こうして生きていることの意味なのだと思つ